

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			
	大問	小問	通番		聞く能力	書く能力	読む能力	言語事項
聞くこと	一	一	1	話の内容を正しく聞くことができる。				
		二	2	話のまとまりに気をつけて正しく聞くことができる。				
		三	3	話し手の説明の仕方の工夫を聞くことができる。				
		四	4	工夫した話し方の効果について考えながら聞くことができる。				
読むこと	二	一	5	文章の展開に即して内容を正しく読むことができる。				
		二	6	文章における語句の意味を正しく理解しながら読むことができる。				
		三	7	表現の仕方や文章の特徴を正しく理解しながら読むことができる。				
		四	8	文章の展開に即して段落の内容を正しく理解しながら読むことができる。				
		五	9	文章の中心の部分と付加的な部分を読み分け、内容を理解することができる。				
書くこと	三	一	10	伝えたい事柄を正しく分類することができる。				
		二	11	必要な情報を選び、伝えたい内容をまとめて書くことができる。				
		三	12	文章を比較し、表現の効果をとらえることができる。				
言語事項	四	一	13	中学校1年生までに学習した漢字を正しく読むことができる。				
		二	14					
		三	15					
		四	16					
		一	17	小学校6年生までに学習した漢字を正しく書くことができる。				
		二	18					
		三	19					
		四	20					
		五	21					
		六	22					
四	23	慣用的な表現を正しく使うことができる。						
二	24	四字熟語を正しく使うことができる。						
三	25	熟語の成り立ちを正しく理解している。						
四	26	接続語を正しく使うことができる。						
二	27	文の成分を正しく理解している。						
三	28	敬語を正しく使うことができる。						
書くこと	五	一	29	資料から分かることについて自分の考えをもち、決められた字数で書くことができる。				
					/4	/4	/5	/16

今後の学習に向けて *自分ががんばりたいところに を付けたり、下線を引いたりしましょう。

「聞くこと」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の意図を考えながら聞く」「全体と部分、事実と意見の關係に注意して聞く」など、国語の授業で学習した聞き方について復習しましょう。学習した聞き方を、他教科の授業や毎日の生活にも生かしましょう。 家庭においても、ニュース番組のアナウンサーや討論番組の司会者の話し方や話の進め方等を注意して聞き、効果的な話し方や聞き方を学習しましょう。
「書くこと」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> 最初に、自分の考えをはっきりさせ、自分が伝えたいことを明確にしましょう。その上で、自分の考えを伝えるためには、どのような根拠を用いると効果的かを考え、ふさわしい内容を選び出すようにしましょう。説得力のある根拠とするためには、自分の経験等を入れると効果的です。さらに、話のまとまりごとに段落に分けて書くようにしましょう。 家庭においても、新聞のコラムの内容をまとめ、感想を書き加えたり、毎日の生活の記録ノート等に体験したことと感想を書いたりして、日常的に事実と意見を書き分ける練習をしましょう。また、自分の国語のノートを読んでいるか、
「読むこと」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> 「説明的な文章を読むときには、筆者は何を伝えようとしているのか、その考えはどのような根拠で説明されているか」「分かりやすく伝えるために、筆者はどのような構成で論を進めているか」などに注意して読み、読み取ったことに対する自分の考えをもつようにしましょう。 家庭においても、読書の時間を作り、説明的な文章を読む時間を増やしましょう。授業で学習した表現方法や着目するとよい表現についてノート等に整理したり表にまとめたりして、家庭での読書に生かすことができるようにしましょう。また、同じジャンルの本を読み比べ、論の進め方、構成の仕方の違いを見つけながら読むことも効果的です。
「言語についての知識」を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> 漢字については、どこが間違っているかを明らかにし、正しい字で徹底的に繰り返し練習することが大切です。読み方が分からない場合は辞典等で確かめ、学習した漢字を使って書くことを大切にしましょう。 文の成分、四字熟語、接続語、慣用的な表現等についても、教科書や辞典等を使って繰り返し復習するようにしましょう。文章の中で「どのような使われ方をしているか」「どんな役割をしているか」に注意しながら読むようにしましょう。 家庭においても、読めなかったり意味が分からなかったりした言葉を見つけたときは、教科書や辞典等を使って調べる習慣を付けましょう。